

大山の森だより

2017年
秋号

秋の大山に危ない毒キノコ☹



「さわるな危険！カエントケ」



木々が赤や黄色に色づき、様々なキノコが見られるようになる秋は、キノコ狩りのシーズンです。キノコ狩りで気をつけなくてはならないのが、毒キノコの誤食です。毒キノコといっても食べなければ大丈夫なはずでしたが、最近、触るだけで皮膚がただれるという最悪な毒キノコがでてきました。それが今号で紹介するカエントケ(火炎茸)です。

カエントケとは小指ほどの太さの茎が地面から何本もねじ曲がって生える真っ赤なキノコで、見た目はまさに火炎。ミズナラやコナラの立ち枯れ木の根際から生えます。毒性が強く、触るだけで触れた場所が腫れ上がり、食べれば3グラムで死に至るといふまさに地獄の炎のようなキノコです。もともとは非常にまれなキノコでしたが、全国的なナラ枯れ(※P2で解説)の広がりに伴い、大山でも確認されるようになりました。



見つけても触らないように！そして絶対に食べないようにしましょう。(大山周辺で発見されたカエントケの幼菌)

秋期 自然ふれあい事業 活動報告

オリジナルの鳥笛とバードコール工作体験 (8/1)



鳥の鳴き声にそっくりな水笛とバードコールを作るイベントを開催しました。小学生低学年と幼稚園年長の親子が多数参加。完成したオリジナルの笛とバードコールを森の中で鳴らしてみました。

大山・秋の花観察会 (9/9)



初秋の大山で、色や形に注目し、いろいろな花々を観察しました。注意して秋の野山を見ているとかなりの種類の花々が咲いていることにビックリ。最後は、はちみつとクロモジ茶を楽しみました。

●7月1日のアサギマダラ観察会は悪天候により中止しました。

○大山・木の実・草の実観察会 9月30日 →冬号で報告

■自然公園財団では、季節ごとに観察会などを開催しています。
予約なしでも参加できるイベントもありますので、是非ご参加ください。
裏面にイベント情報を掲載しています。

特集：ナラ枯れ

大山のミズナラに迫るカシノナガキクイムシ



(取り付けられたペットボトルトラップ)



(下のボトルに溜まっているのがカシノナガキクイムシ)

大山に来られたお客様から、「道路わきの木の周りに取り付けられているものは何ですか？」という質問を受けることがあります。

米子方面から大山に向かって車で登ってくると、途中から左の写真のような装置が大きな木に取り付けられているのがチラホラとみられるからです。

これはペットボトルトラップという今年から大山町に導入されたナラ枯れ予防の装置で、簡単に説明するとカシノナガキクイムシ(略称カシナガ)というナラ枯れの原因となる体長5ミリほどの甲虫を捕らえるものです。

ナラ枯れとは、カシナガが集団的にナラ類に穿孔し、幹内に持ち込んだナラ菌が原因でしおれて枯れる病気です。

大山では4年前から被害木が出始めましたが、鳥取県東部では20年ほど前から問題になっています。特に大山にたくさん生えているミズナラは罹患すると枯死する率が7～8割にもなり、深刻な事態となります。

カシナガは酵母菌を掘った穴の中で育てる養菌性キクイムシで、ナラ菌は酵母菌といっしょにカシナガのメスにくっついて運ばれます。

カシナガのオスはメスより先に樹木に取り付き、菌を育てるのに適した木と判断すると数センチ穴を開けたところで、集合フェロモンを放出します。その放出したフェロモンによって多数のカシナガが巣(コロニー)を作るために集まってくるのですが、この装置はそこを一網打尽にするのです。

カシナガに狙われるのは大径木、つまりお年寄りの木で、若い木は被害にあっても枯死しにくいとのこと。近年のカシナガの急激な増加の原因は、温暖化とともに、人間が薪炭材としてカシやナラを切らなくなり、大径木が増えたからではないかとも言われています。

カシナガは一夫一婦制で分業して酵母菌の管理と子育てをし、先に生まれた幼虫が弟妹幼虫の世話をするといい興味深い生態をした昆虫なのです。



(被害木は幹に空いた穴からたくさんの湿った木くずやフンが出るのが特徴)

ですが、大山のミズナラを守るためにはある程度の駆除が必要です。

ミズナラの立ち枯れが増えると、カシやナラ類の立ち枯れ木の根元に生えるカエンダケといった危ないキノコも増えてきます。

同一地域でのカシナガの激甚被害は2～3年で収束、被害も3～6年で収束するとのこと。それまでにブナとともに大山の森のシンボルであるミズナラの大木が、多く生き残ってくれることを望みます。



大山カエデ案内



秋の大山を彩るカエデの樹。日本には26種(諸説あり)が自生しており、その姿は様々。カエデの特徴として、「対生」、「一对の翼果」が決め手になります。大山で見られる主なカエデ(晩秋の葉)を紹介します。



「イロハモミジ」

いわゆるモミジとは本種のこと。



「オオモミジ」

イロハカエデに似て大柄。ただし葉のギザギザが一重。



「コミネカエデ」

山地にふつうに見られる。あまり樹高は高くない。



「ハウチワカエデ」

名前は天狗が持つ鳥の羽で作ったうちわから。



「コハウチワカエデ」

別名はイタヤメイゲツ。



「イタヤカエデ」

サトウカエデの親戚。冬の樹液は甘い。



「ウリハダカエデ」

若い枝や幹は緑でスイカ(ウリ科)のような黒い筋がある。



「テツカエデ」

カエデの中で一番葉が大きい。



「メグスリノキ」

名前は樹皮や葉を煎じて洗眼に用いていたから。

※その他に、オオイタヤメイゲツ、ウリカエデ、アカイタヤ、ミツデカエデ、チドリノキなどが見られます。

※図はHP「日本産カエデの種(しゅ)の識別」から借用しました。

共催イベント情報

奥大山古道ウォーク2017

11月11日(土)

参加費:1人1000円

集合場所:奥大山スキー場(エバーランド奥大山)駐車場有 午前8時30分に受付開始

9:30 鍵掛峠からウォーク開始 → **11:00** 御机集落到着 昼食(団子汁サービス) 特産品販売

11:40 御机出発 → **12:00** サントリー工場見学 → **14:00** 下蚊屋荒神神楽鑑賞 →

15:00 解散予定




申し込み:江府町のHPから申込書をダウンロードし、ファクシミリまたはメールで申し込みください。

お問い合わせ先:奥大山古道保存協議会事務局(0859-75-3222)

ーイベント情報 (10月~12月)ー



■自然公園財団のイベント (予定 2017年10月1日現在)

<p>大山寺秋祭り 大山古道「坊領道」ウォーク 開催日:10月24日(火)7:00~12:00頃 会場:大山寺 集合場所:大山町宮内 仁王堂公園 参加費:1500円 途中バス代 250 円別途 特記:※大山青年の家前からバス乗車</p>	 <p>内容:大山寺秋祭りに合わせて、大山古道の一つ「坊領道」を歩きます。大山寺到着後は稚児行列と護摩法要を観覧します。</p>
<p>秋の溪畔林を歩く。山陰の奥入瀬「木谷沢」 開催日:11月15日(水)9:00~12:00 会場:江府町御机 木谷沢 集合場所:奥大山スキー場駐車場 参加費:1000円</p>	<p>内容:紅葉に染まる木谷沢溪流を散策。奥大山の秋を堪能します。散策中にコーヒーとお菓子(トチの実せんべい)を提供。癒しの時間を楽しんでください。</p>
<p>大山・秋の野鳥観察会 冬鳥を見つけよう 開催日:11月未定 9:00~12:00頃 会場:大山寺周辺 集合場所:大山情報館1F自然公園財団前 参加費:1000円</p>	 <p>内容:秋に北国から大山にやってくるアトリ・ヒレンジャクを中心に、大山の野鳥を観察します。講師は日本野鳥の会鳥取県支部。</p>
<p>木の実リースと和カンジキを作ろう 開催日:12月16日(土)9:00~12:00頃 会場:大山自然歴史館(予定) 集合場所:大山情報館1F自然公園財団前 参加費:500円</p>	<p>内容:木の実とつるでクリスマスリースと和カンジキを作ります。リースと和カンジキはプレゼント。親子参加をお待ちしています。</p> 

■通行規制■ 規制時間:10月28日(土) 午前7時から午後1時まで

規制区間:大山環状道路(榎水(ますみず)高原~奥大山スキー場)

※シャトルバスが運行します。 大山寺~榎水高原~鍵掛峠~奥大山スキー場(無料:各区間の往復運転)

■周辺のイベント■

「第1回 大山紅葉満喫ウォーク」 平成29年10月28日(土) 受付:8時30分 スタート:9時

大山の豊かな自然環境を満喫してもらい、すばらしい紅葉をゆっくりと歩いて楽しんでいただくために、ブナ林を貫く大山環状道路の通行規制をした区間でウォーキングイベントを開催します。

1「奥大山コース」約4.2km(1時間30分~2時間) 集合:奥大山スキー場

2「健脚・横手道コース」約6km(2時間~3時間) 集合:大山寺博労座第5駐車場

申し込み、参加料等の詳しい内容は

問合せ先 大山環状道路自動車利用適正化社会実験協議会事務局 電話:0859-31-9721

※右記のHPでも紹介しています。(http://www.pref.tottori.lg.jp/250429.htm)



一般財団法人 自然公園財団 鳥取支部 大山事業地

〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山40-33(大山情報館1階)

TEL:0859-52-2165 FAX:0859-52-2371

URL <http://www.bes.or.jp/daisen/>